

公立大学法人 下関市立大学 健康スポーツセンター



所在地：山口県下関市大学町2-1-1
 延床面積：3,278.07㎡
 構造・規模：RC造一部S造
 設計：(株)佐藤総合計画
 施工：建築／福永建設・野口工務店・長野工務店
 共同企業体
 電気／和田電機・河崎冷熱電機共同企業体

日常的なスポーツ活動を主体に、大規模な大会にも対応可能な大学体育館。
 メインアリーナの照明は、メタルハライドランプ埋込ダウンライトを採用し、
 各種競技レベルに対応した的確な明るさを確保しつつ、省エネが図られています。

アリーナの多様な活動を外部から見られる 開かれた体育館・交流の場を創出

日常のスポーツ活動や大会利用、イベント活用など、誰もが気軽に使用できる体育館として計画されたこの施設は、囲われたアリーナではなく、多様な活動の様子が可視化され、開かれたキャンパスの象徴となる新しい顔を創出しています。

3面バスケットコートをもつメインアリーナは、正規授業や課外授業をはじめ、国体などの大規模な大会にも対応できるよう可動客席が設けられています。また、体育館としての機能を最優先しつつも、講堂としての活用も配慮され、舞台照明・音響設備や舞台機構設備も装備しています。

電動昇降装置付HID埋込ダウンライトを採用し、最適な照度を確保しつつ容易なメンテ

メインアリーナは6mピッチとした9列のメッシュ仕様のスリットライン天井(天井高約12m)で構成されており、その上部からのライトシェルフとアリーナ壁面からのルーバによる日射制御で自然光を十分取り入れ、昼間の照明を削減しています。照明は、スリットライン天井に1kW高効率高演色形メタルハライドランプ(4200K、Ra70)埋込ダウンライトを1列当たり8台設置し、全点灯時平均照度床1000lxが得られています。また、照明制御装置が採用され、各種競技レベルや使用区分に対応した点滅制御、照明パターン制御をあらかじめ作成し、運用状況に応じた最適な照度を再現しながら、ムダな明かりをセーブしています。

器具の清掃やランプ交換などのメンテナンスは、スピーディに、かつ安全・確実に行えるようそれぞれの器具に電動昇降装置を装備しています。

メインアリーナに隣接のトレーニングエリアは主に武道場として利用され、照明は32WHf蛍光灯2灯用埋込器具による均等配置ですっきりとした空間を形成しています。全点灯時の平均照度は、一般競技レベルに十分対応できる床面500lxが確保されています。

また、将来の地域開放を考慮し、高齢者にも安全かつ自由に利用できるように段差のない設計となっており、トイレは多目的トイレを設置。一般トイレにおいても、点滅しなくてすむよう蛍光灯ダウンライトと人感センサの連動により、自動点灯で利便性を高めると同時に、省エネを図っています。夜間時における外部通路の安全を確保するため、建物に沿って街路灯(プレアストリート)が点在設置されています。



メインアリーナの舞台側から正面を望む：1kWメタルハライドランプ埋込ダウンライトをメッシュのスリット天井へライン状に配置



正面側から舞台側を望むメインアリーナの照明



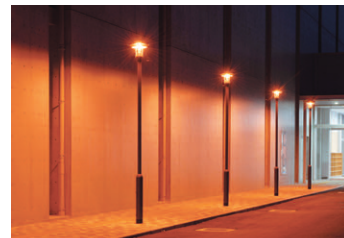
蛍光灯埋込器具(FHF32WX2)を均等配置したトレーニングエリアの照明



メインアリーナに採用されている1kWメタルハライドランプダウンライト(MF1kW)



照明制御装置



建屋に沿った通路に街路灯を配置

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
館内	埋込ダウンライト(電動昇降装置付)	DD-10388G	72	1kWメタルハライドランプ
		FHR-42478-NK-PA	56	32WHf蛍光灯ランプ×2
	埋込器具(下面開放)	FHR-41478NK-PA	25	32WHf蛍光灯ランプ
屋外	街路灯	HG-23701(改)	5	110W高圧ナトリウムランプ
		HG-13017(改)	8	75W高圧ナトリウムランプ
	蛍光灯ブラケット	FUB-18155M(K)-GLI	12	18Wコンパクト形蛍光灯ランプ